

整理番号: I-XB53-04

作成日 2010年6月15日

改訂日 2025年6月30日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	尿C-ペプチド安定化剤
製品コード	I-XB53
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	区分
急性毒性(経口)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮)	区分4
急性毒性(吸入: 粉塵・ミスト)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない(区分外)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響	区分に該当しない(区分外)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
水生環境有害性 短期(急性)	区分2
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない(区分外)

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語
危険有害性情報

危険
H312 皮膚に接触すると有害
H332 吸入すると有害
H318 重篤な眼の損傷
H371 臓器(中枢神経系)の障害のおそれ
H401 水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
EP264 取扱い後は手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

EP302+EP352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
EP310 直ちに医師に連絡すること。
EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
EP321 特別な処置が必要である。
P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
EP501 内容物／容器を適切な規則に従って廃棄すること。

廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名
慣用名又は別名
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び濃度又は濃度範囲
官報公示整理番号

炭酸ナトリウム
炭酸ソーダ
CAS登録番号 497-19-8
炭酸ナトリウム 96.4(w/w)%
化審法(1)-164

化学名又は一般名
慣用名又は別名
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び濃度又は濃度範囲
官報公示整理番号

ドデシル硫酸ナトリウム
ラウリル硫酸ナトリウム、SDS、SLS
CAS登録番号 151-21-3
ドデシル硫酸ナトリウム 3.6(w/w)%
化審法(2)-1679

4. 応急措置

吸入した場合

P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

EP310 直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

EP302+EP352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

EP310 直ちに医師に連絡すること。

EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合

P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

EP310 直ちに医師に連絡すること。

EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

EP310 直ちに医師に連絡すること。

EP312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

泡消火剤、炭酸ガス消火剤、ドライケミカル消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

情報なし

消火活動を行う者の特別な

情報なし

保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 及び緊急措置

8章で推奨する保護具を着用すること。関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項

P273 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を回収すること。できるだけ拭き取って回収し、こぼれたところを完全に拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

EP264 取扱い後は手をよく洗うこと。

P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

局所排気・全体排気 安全取扱い注意事項

適切に換気し保護具を着用し取扱うこと。

P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

接触回避

情報なし

衛生対策

EP264 取扱い後は手をよく洗うこと。

保管

安全な保管条件

添付文書または使用説明書及びラベルに記載された保管条件に従うこと。

安全な容器包装材料

製品に使用している容器をそのまま使用する

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 等

管理濃度	未設定
日本産衛学会	未設定
ACGIH	未設定

保護具

呼吸用保護具	P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
手の保護具	P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
眼、顔面の保護具	P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

尿C-ペプチド安定化剤

物理状態

物理状態	固体(粉末)
色	白色
臭い	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の実験および保管時には安定
化学的安定性	通常の実験および保管時には安定
危険有害反応可能性	通常の実験条件下では危険有害反応を起こさない
避けるべき条件	日光、熱、湿気
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮)	区分4
急性毒性(吸入:気体)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	区分4
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない(区分外)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(中枢神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

急性毒性

区分2

慢性毒性

区分に該当しない(区分外)

残留性・分解性

情報なし

生態蓄積性

情報なし

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

分類できない

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、
かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイク
ルに関する情報

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の
安全対策

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報

15章の該当法規制に従う。

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されている。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認すること。

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(炭酸ナトリウム、ドデシル硫酸ナトリウム)、名称等を通知すべき危険物及び有害物(炭酸ナトリウム、ドデシル硫酸ナトリウム)、皮膚刺激性有害物質(炭酸ナトリウム、ドデシル硫酸ナトリウム)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

第1種指定化学物質(2023年施行)(ドデシル硫酸ナトリウム)

化審法

優先評価化学物質(ドデシル硫酸ナトリウム)、製造輸入量の届出を要しない物質(炭酸ナトリウム)

消防法

非該当

航空法

非該当

船舶安全法

非該当

大気汚染防止法

非該当

水質汚濁防止法

非該当

土壤汚染対策法

非該当

下水道法

非該当

海洋汚染防止法

非該当

麻薬及び向精神薬取締法

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

非該当

外国為替及び外国貿易管理法

輸出許可物質(全リスト)(炭酸ナトリウム、ドデシル硫酸ナトリウム)、輸出許可物質(16.キャッチオール規制品目)(炭酸ナトリウム、ドデシル硫酸ナトリウム)

16. その他の情報

引用文献 JIS Z 7252 : 2019、JIS Z 7253 : 2019

その他

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。